

ネイチャー・ウォーク

平成 年 月号
200 . . 発行
(通巻第 号)

ECO  SAITAMA (財)埼玉県生態系保護協会 部会：自然を歩く会

～ 先月のネイチャーウォーク ～

～ 3号線を越えて昭和沼～

(JR宇都宮線新白岡駅～同久喜駅)



お師匠様も走る 12月、今年最後のネイチャーウォークは、富田さんをリーダーに、久喜市の工業団地の真ん中に位置する冬鳥たちのメッカ、昭和沼(久喜^{くき}しょうぶこうえん^{しょうぶこうえん})を目指して歩きます。

1月なみの気温ではありましたが、風もほとんどなく、雲ひとつない快晴となったネイチャーウォーク、幸先^{さいさき}良くスタートです。

新白岡駅から昭和沼まで、東北新幹線や東北自動車道(下写真)、建設途中の圏央道(右写真)と、いくつもの幹線を横断しました。

道中「これ(圏央道)ができると便利になるよねー」という、偽らざる参加者のお言葉が複数。その一方、耕作放棄地らしきヨシ原から飛び上がるオオタカやチョウゲンボウの^{ゆうし}勇姿には歓喜の声が上がります。



東北自動車道下を通過

『道路は作る』、『自然も守る』

『両方』やらなくっちゃあならないのが、

『現世代のオトナ』のつらい所です。



道中、草木はすっかり冬のよそおい。

枯れ草の中や葉っぱを全て落とした木々の中に、カラスウリやヘクソカズラ、ムクロジの実といった赤や茶色の木の実に草の実が、参加者の目を楽しませてくれました。

羽根突きの『タマ』になるムクロジの実



ヘクソカズラの実



たわわに実るカキ。

昭和沼に到着し、鳥見、そして昼食。

昭和沼ではカルガモ、マガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、コガモ、ヨシガモ、オカヨシガモ、キンクロハジロ、トモエガモ、オオバン、カワウ、カイツブリなどが羽を休めていました。飛び回るカワセミの姿も。

よく昭和沼を観察されている参加者のYさん曰く、今回は非常にカモの数が少ないとのこと。それでも、一部の参加者がトモエガモを2羽見ることができました。



たくさんの釣り竿の間を、コガモが器用に泳ぎ回っていました。見ていて危なっかしいことこの上ないです。



澄み渡る空と、浮きの上で休むカモたち。ここではカルガモ、マガモ、ヨシガモ、オカヨシガモを観察できました。



関東地方で定期的にトモエガモが見られるのは、ここ昭和沼くらいでしょうか？



バードウォッチングと昼食の後は、ネイチャー恒例の Walk 歩こう認定証の授与。
今回は S さんが 5 回目の認定です。おめでとうございます、そして今後とも、ネイチャーウォークをよろしく願います。



昭和沼を離れれば、あとは駅まで一直線...だったはずなのですが、自然との出会いは一期一会、最後まで何と出会うのかわからないのがネイチャーウォークのいいところ。



参加者の M さんより提供、パンダ模様のコクマルガラス

屋敷林が点在する田んぼの中で、何百羽ものミヤマガラスが上空を舞っていました。最初はハシボソガラスと何が違うのかわからないという声もありましたが、鳥にくわしい参加者たちのていねいな解説もあり、ユーラシア大陸から渡ってくるミヤマガラスに、そしてあちこちに見られる白いコクマルガラスに、大歓声があがりました。

関東地方ではもはや当たり前になりつつあるミヤマガラスとコクマルガラス。今後ももっと増えると言われています。



2010 年も、ネイチャーウォークをよろしく願います。

お疲れさまでした